

日立電気キッチンヒーター

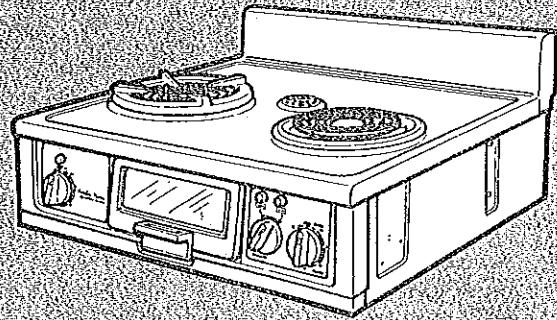
23

HT-3010G形

このたびは日立電気キッチンヒーターをお求めいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。

なお、お読みになった後は保証書、ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。



目次

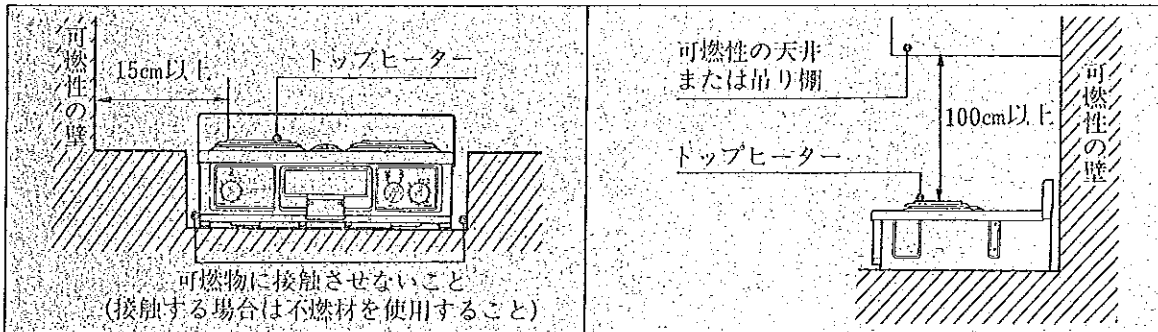
ご使用上の注意	1	お手入れの方法	5
各部の名称	2	仕様	6
トップヒーターの使用法	3	アフターサービスと保証	7
グリルの使用法	4		

ご使用上の注意……安全上特にお守りいただきたいこと。

<p>1 この電気キッチンヒーターの定格電圧は200Vです。必ず専用コンセントを使用し、接地(アース)工事を確実に行ってください。 くわしくは電気工事店または施工主にご確認ください。</p>	<p>使用中および使用直後はヒーターやその近くの金属部が高温になっていますので、手をふれないように注意してください。 ヒーターが赤熱していなくても(黒色でも)高温になっています。使用後もしばらくはやけどなどに十分注意してください。</p>
<p>2 差込プラグはコンセントに根元までしっかり差し込んでおいてください。 ぬれた手で差込プラグにさわらないでください。 なお、長期間にわたってご不在のときは、差込プラグを抜くか、または専用回路のブレーカーを切ってください。</p>	<p>3 ヒーターは空焼をしないでください。 グリル回りが高温になって天板が変形したり、ヒーターの寿命を縮めます。 また、焼肉用鉄板や陶板で連続して空焼することもおやめください。過熱して故障することがあります。</p>
<p>4 調理以外の用途(炭や練炭おこし、暖房用など)には使用しないでください。 ヒーターの寿命を縮めたり、故障の原因になります。</p>	<p>5 天ぷらなど油を使って調理しているときは、その場を離れないでください。また、熱量調節に注意してください。 過熱しますと発火するおそれがあります。 調理中にその場を離れるときは、必ず熱量調節を「切」にして鍋をヒーターからおろしてください。</p>

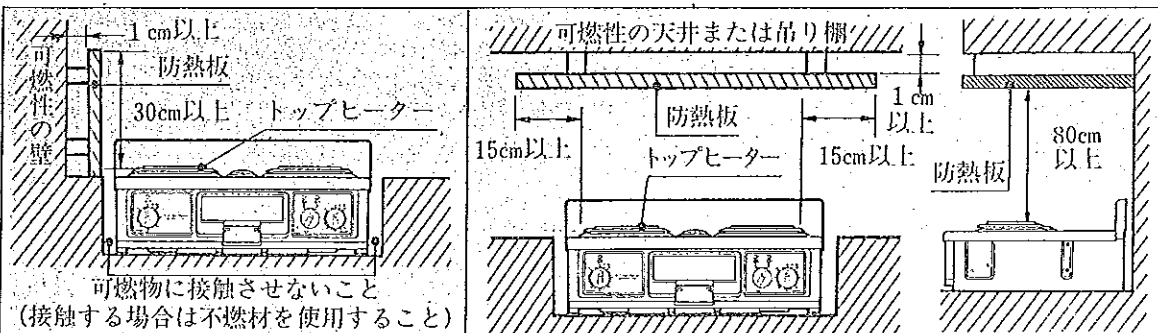
設置場所について

器具は火災予防上、トップヒーターの端部と可燃物(木壁、棚)とは側面は15cm以上、上面は1m以上離してください。必要な間隔を設けずに設置しますと、壁面などの温度が上がり危険です。

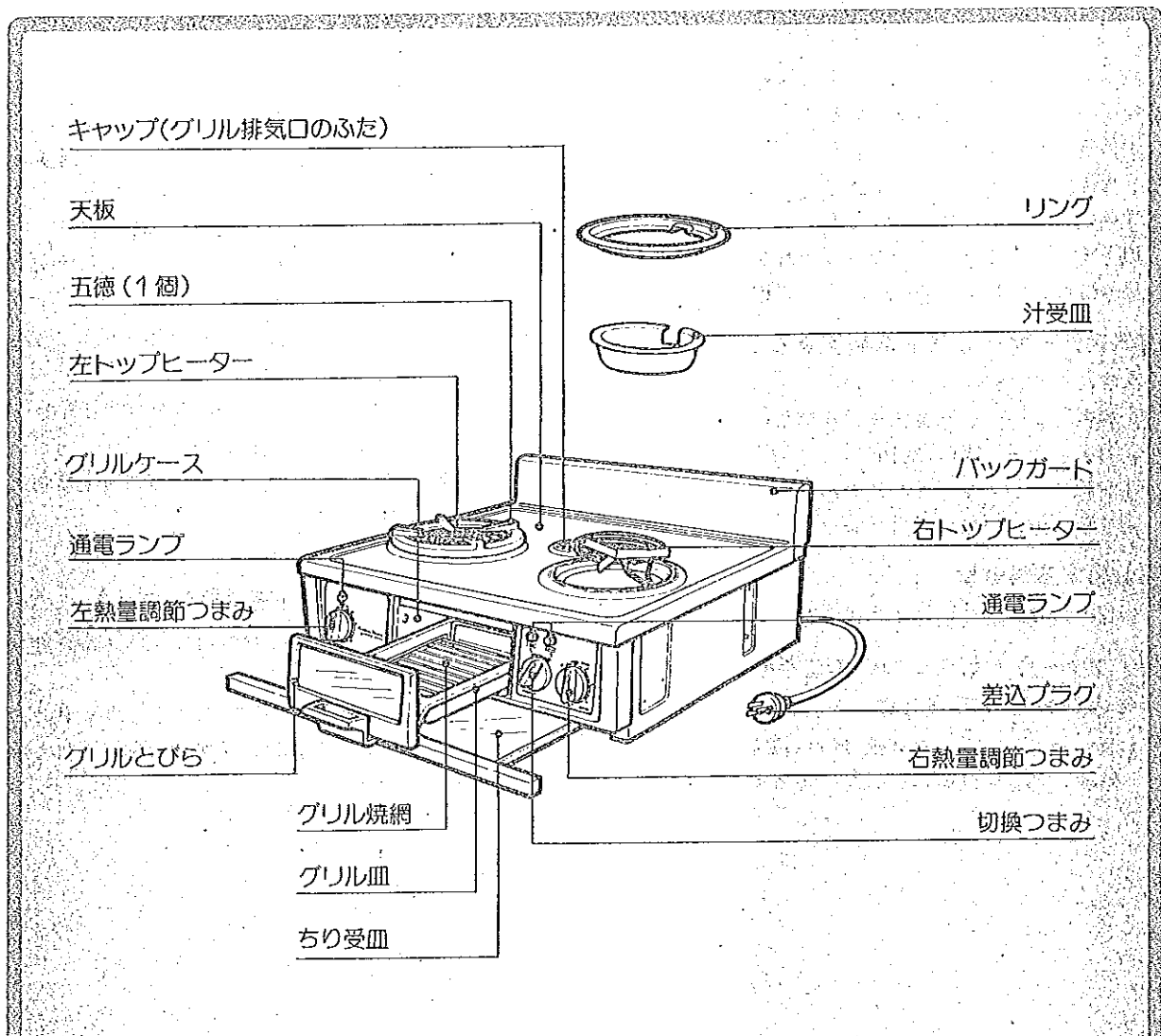


火災予防上必要な間隔がとれない場合

不燃材料(石綿スレート板、ステンレス鋼板など)でできている防熱板を使用し、下図の要領で取りつけてください。

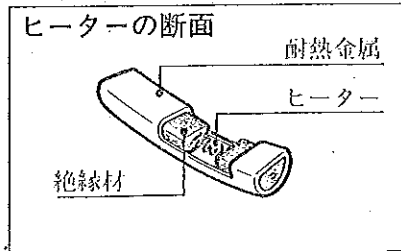


各部の名称



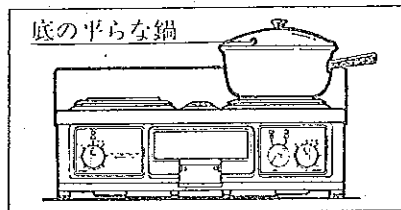
鍋、やかん、フライパンなどはヒーターの上に直接のせてお使いください。

この製品のヒーターは、図のようなシーズヒーターを用いていますので、直接のせても鍋などに電気が流れることはありません。



底の平らなものを使用した方が熱効率がよく、早く調理できます。

- ① 鍋底が丸いものや凸凹のものは熱効率が悪くなります。
- ② 耐熱ホーロー以外のホーロー鍋は直接のせると底が溶けてハゲ落ちることがありますのでご注意ください。
- ③ 鍋底の水滴はふきとってからのせた方が経済的です。



五徳の使い方

均一な熱が必要なホットケーキを焼くときやもちを焼くとき、底の丸い中華鍋などをのせるときに使います。

通

熱

左使

左し通こ

熱

熱熱

通

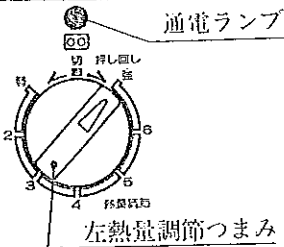
熱

トップヒーターの使用法

通電のしかた

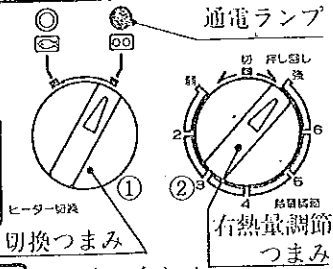
熱量調節つまみは押し回し式、ヒーターの切換つまみは回転式となっています。

左トップヒーターを使う場合



左熱量調節つまみを右または左へ押し回してください。
通電ランプがついてヒーターに通電されたことを示します。

右トップヒーターを使う場合

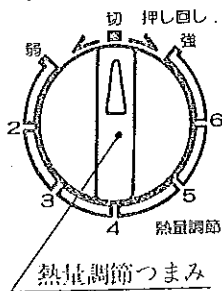


① 切換つまみを **〇〇** 印の方に合わせ
② 右熱量調節つまみを右または左へ押し回してください。
〇〇 印の上の通電ランプがついてヒーターに通電されたことを示します。

熱量調節のしかた

熱量調節つまみを押してから回して調節します。

熱量調節目盛と火力の関係は表のようになっていきますので目安としてください。



熱量調節目盛	火力の目安
弱～2	どろ火
3～4	弱火
5～6	中火
強	強火

「強」目盛は約2,300kcal/hのガスこんろの火力に相当します。

● ヒーターは熱量調節をしても直ぐには火力が変わりません。

例えば、「強」目盛から「弱」目盛にしても直ぐに火力が弱くならず、余熱のためしばらく高い温度を保ちます。

ふきこぼれやこげつきに気をつけてください。

通電をやめるときは

熱量調節つまみを「切」に合わせ、通電ランプが消えたことを確認してください。

● 通電をやめた後も余熱が残ります。

その分を見込んで早目に通電をやめ、余熱を利用すると電気代の節約となります。

熱量調節つまみを「弱」と「切」の間、「切」と「強」の間では使わないでください。
電気が切れない場合や通電しない場合があります。

グリ

グ



2 ク



3 ク

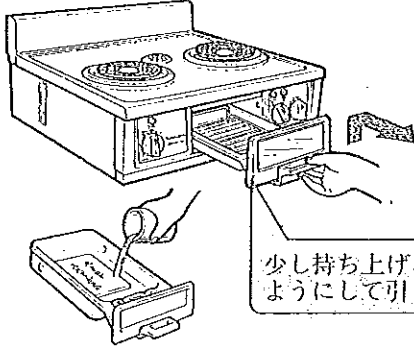


4 切

ヒ 上 通 読 ●

グリルの使用方法 (グリルを使用しているときは右トップヒーターは) 通電しません。

1 グリル皿に水を入れる

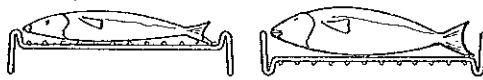


グリル皿にカップ1杯ほど(約200cc)の水を入れてください。

◎続けてたくさんの魚を焼くときは途中で水を足してください。

少し持ち上げるようにして引き出す

2 グリル焼網をグリル皿に入れ、魚など焼く物をのせる

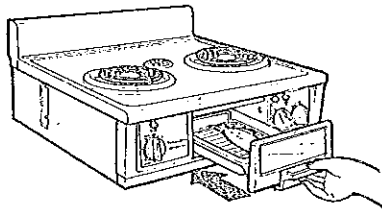


薄い魚の場合

厚い魚の場合

焼く物の厚さに応じてグリル焼網を表裏に使いわけてください。

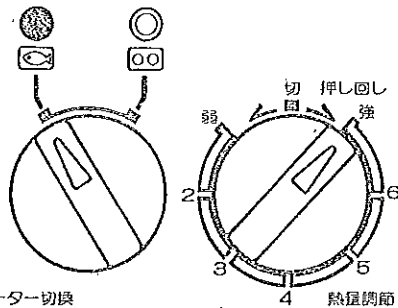
3 グリル皿をグリルケースに入れる



グリルとびらがきっちりグリルケースにあたるまで押し込んでください。

◎グリル皿に水を入れてから2~3分予熱をしますと、魚などがグリル焼網にこびりつきにくくなります。

4 切換つまみを ☉ 印の方に合わせ、右熱量調節つまみを押し回して「強」に合わせる。



☉印の上の通電ランプがついてグリルに通電されたことを示します。

熱量調節のしかたはトップヒーターの場合と同じです。火力が強すぎる場合は熱量を調節してください。

使用中はグリルとびらや上部天板が熱くなりますので手を触れないでください。また、ガラスに水がかかると割れることがありますのでご注意ください。

上面がお好みの焼け具合になりましたら裏返してください。

通電をやめるときは、熱量調節つまみを「切」にして、通電ランプが消えたことを確認してください。

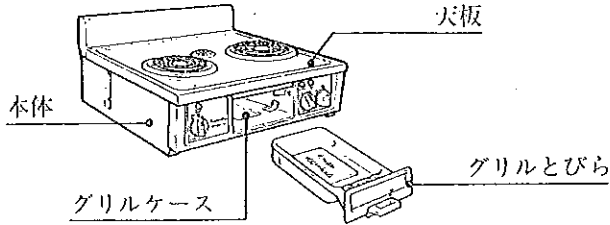
◎グリルは熱量調節つまみを「切」にしても余熱で高温になっています。

調理物を入れたままにしておきますとこげすぎる場合がありますので、早めにグリルから出してください。

お手入れの方法.....必ず左・右熱量調節つまみを「切」にし、天板やヒーターがよくさめてからお手入れしてください。

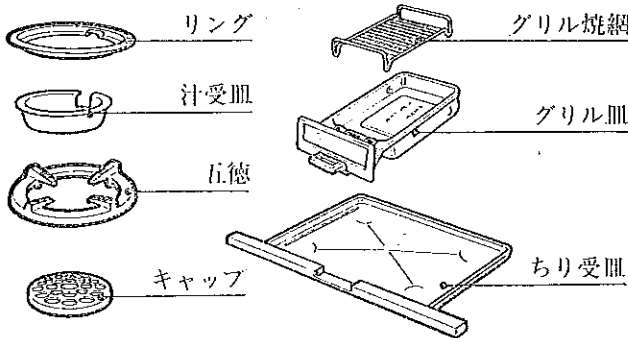
仕

本体・天板・グリルケース・グリルとびら



乾いた布でふいてください。汚れのひどいときは、スポンジや布に洗剤を入れた水を含ませてふきとり、その後乾いた布で水気をふきとってください。

リング・汁受皿・五徳・ちり受皿・グリル皿・グリル焼網・キャップ

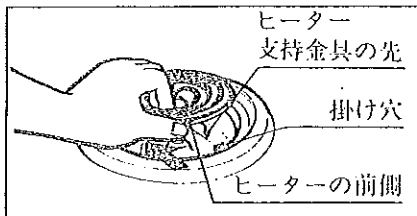


取りはずして洗剤を入れた水で洗い、その後乾いた布で水気をふきとってください。お手入れ後はもとどおり取りつけておいてください。

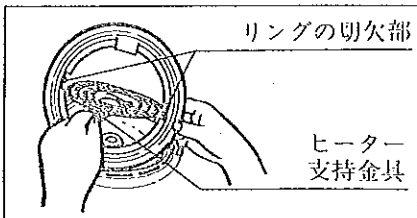
リング・汁受皿のはずし方・つけ方

はずし方

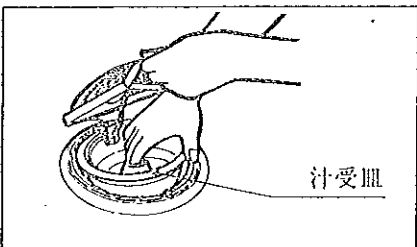
- 1 トップヒーターの前面に手をかけて後(矢印方向)へ押し、ヒーター支持金具の先を掛け穴からはずす。



- 2 リングの切欠部とトップヒーター支持金具を合わせてリングをはずす。

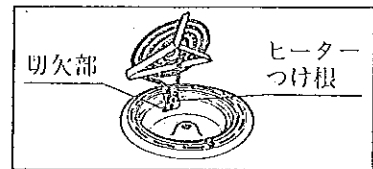


- 3 汁受皿を取る。

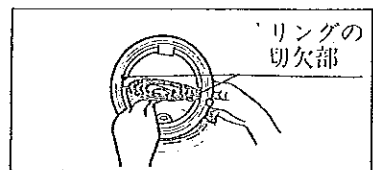


つけ方

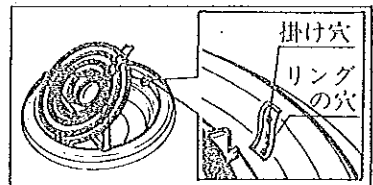
- 1 汁受皿の切欠部をトップヒーターのつけ根に合わせてセットする。



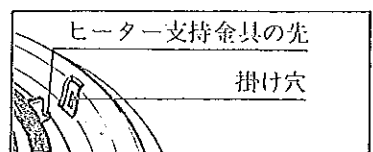
- 2 リングの切欠部とトップヒーター支持金具を合わせてリングをセットする。



- 3 リングの穴を掛け穴に合わせる。



- 4 ヒーター支持金具の先を掛け穴に差し込む。



差し込みが不十分ですとトップヒーターがぐらつき危険ですから、よく確認してください。

電

定格洋

ヒータ

コ

差込

大きさ

重

付

天板や
さい。

仕様

このひどい
入れた水を
缶で水気を

ア


その後
さい
てあて

ター
根

グの
部

穴
ング
の穴

つき

電 源	単相 200V		
定格消費電力	左トップヒーター	右トップヒーター	グリルヒーター
	<ul style="list-style-type: none"> ・切 ・弱 約150W } この間 ・強 1,500W } 無段階調節 	<ul style="list-style-type: none"> ・切 ・弱 約150W } この間 ・強 1,500W } 無段階調節 	<ul style="list-style-type: none"> ・切 ・弱 約 80W } この間 ・強 800W } 無段階調節
ヒーター切換	右トップヒーターとグリルヒーターの切換		
コ ー ド	3芯、ゴムキャブタイヤコード 60.0cm 導体：2mm ²		
差込プラグ	接地形2極差込接続器 定格 250V・15A		
大きさ	外形寸法	幅60.0cm 奥行55.0cm 高さ18.0cm(バックガードを含んで27.0cm)	
	グリル寸法	幅20.0cm 奥行25.0cm 高さ7.0cm(有効5.0cm)	
重 さ	約 11.6kg		
付 属 品	五徳 (1個)		

ア

ア

熱量
かな
①停
②専
③差
以上
場合

ア

次の
①品
②形
③症
④道

転居

お買

ア

その
お買
覧

アフターサービスと保証

■アフターサービスを依頼する前に

熱量調節つまみを押し回しても通電ランプがつかないときは次の項目を点検してください。

- ① 停電していないか
- ② 専用回路のブレーカーが作動していないか
- ③ 差込プラグが抜けていないか

以上のことをお調べいただき、それでも不具合な場合はお求めになった販売店などにご相談ください。

■アフターサービスを依頼するときは

次のことをお知らせください。

- ① 品名……………日立電気キッチンヒーター
- ② 形名……………HT-3010G
- ③ 症状……………できるだけ詳しく
- ④ 道順……………付近の目印も

■転居する場合は

お買いあげの販売店にご相談ください。

■アフターサービスについてご不明の場合、 その他お困りの場合は

お買いあげの販売店か別紙(黄色用紙「ご相談窓口一覧表」)のご相談窓口にお問い合わせください。

■保証について

- ① この商品は保証書付です。
- ② 保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容を確認のうえ大切に保存してください。
- ③ 保証期間はお買い上げの日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料となることがありますので保証書をよくお読みください。
- ④ 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。
当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

■補修用性能部品の保有期間について

電気キッチンヒーターの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。

- ① この期間は通商産業省の指導によるものです。
- ② 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

日立家電販売株式会社 日立熱器具株式会社

〒105 東京都港区西新橋2-15-12 電話 (03) 502-2111

07C(M)3010G1 816009